

令和元年度

第 1 回 松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

会議録

日時 令和元年 5 月 2 7 日（月） 午後 2 時

場所 松本市勤労者福祉センター

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

○司会 大変お待たせいたしました。

ただいまから令和元年度第1回松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会を開催いたします。

本日の協議会委員のご出席でございますが、小学校に関係する委員は、30名のうち22名ご出席いただいております。また、中学校に関係する委員は、27名のうち18名ご出席いただいております。両方とも過半数を超えておりますので、協議会規約第8条第2項の規定により協議会が成立することをご報告申し上げます。

申しおくれましたが、私は本協議会の規約によりまして事務局を担当いたします松本市教育委員会学校教育課長の逸見和行と申します。令和元年度の協議会役員が決定するまでの間、会議の進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日の会議は、お手元の資料にあります会議次第に沿って進行させていただきます。

本日出席をいただいておりますのは、各市村の教育長、教育長職務代理者、校長会長、同副会長、保護者代表、学識経験者の皆様でございます。特に保護者代表及び学識経験者の委員の皆様におかれましては、教科用図書の採択に当たり、開かれた採択を推進するため、採択地区の市町村教育委員会から推薦いただき、ご就任いただいております。改めて御礼申し上げますとともに、この会議においてご経験を生かした貴重なご意見を賜りたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

委員の皆様の名簿につきましては、資料の2ページと3ページに掲載しております。

なお、本日の会議に安曇野市教育長職務代理の唐木様、生坂村教育長の樋口様及び職務代理の久保田様、筑北村職務代理の萬井様、安曇野市校長会副会長の中村様、学識経験者の宮崎様、あと松本市PTA代表の稲沼様、以上の方が欠席ということでご連絡をいただいております。

それでは、初めて顔を合わせる方もいらっしゃると思いますので、初めに協議会委員、続きまして事務局職員の自己紹介をお願いしたいと存じます。

それでは、松本市教育委員会の教育長から職務代理者へ名簿順に、それに続きまして保護者代表、学識経験者、校長会の順で自己紹介をお願いいたします。

ただいまマイクをお持ちしますので、お待ちください。

○赤羽委員 皆さん、こんにちは。松本市教育委員会教育長の赤羽郁夫と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○市川（莊）委員 こんにちは。松本市教育委員会教育長職務代理者の市川莊一です。よろしくお願いいたします。

○山田委員 皆さん、こんにちは。塩尻市教育委員会教育長の山田富康と申します。よろしくお

願いいたします。

○小澤（嘉）委員 願いします。塩尻市教育長職務代理者の小澤嘉和です。よろしくお願いします。

○橋渡委員 安曇野市教育長の橋渡勝也でございます。よろしくお願いいたします。

○宮下委員 ご苦労さまです。筑北村教育長の宮下敏彦と申します。どうぞよろしくお願いします。

○飯森委員 麻績村の教育長、飯森力と申します。よろしくお願いいたします。

○市川（祥）委員 同じく職務代理の市川祥介と申します。よろしくお願いいたします。

○根橋委員 山形村教育長の根橋範男と申します。よろしくお願いいたします。

○平林委員 同じく山形村教育委員会の職務代理者、平林でございます。よろしくお願いします。

○百瀬委員 朝日村教育長の百瀬司郎と申します。よろしくお願いします。

○上條委員 同じく職務代理者、上條利春です。よろしくお願いします。

○中野委員 塩尻市PTA代表の中野恵美と申します。よろしくお願いします。

○平井委員 東筑摩郡PTA代表の平井淳子と申します。よろしくお願いいたします。

○北澤委員 安曇野市PTA代表の北澤宏和と申します。よろしくお願いします。

○大蔵委員 松本大学教育学部の大蔵真由美と申します。よろしくお願いいたします。

○峯村委員 山形村の峯村忠平申します。よろしくお願いいたします。

○横内委員 安曇野市教育委員の横内理恵子と申します。よろしくお願いいたします。

○松本委員 松本市校長会の松本久憲と申します。よろしくお願いいたします。

○湯本委員 松本市校長会副会長の湯本英俊と申します。よろしくお願いいたします。

○村上委員 東筑摩塩尻校長会会長の広陵中学、村上啓でございます。よろしくお願いをいたします。

○小沢（敬）委員 同じく副会長の小沢敬也と申します。よろしくお願いします。

○司会 ありがとうございます。

続いて、事務局職員、自己紹介します。

○山内教育部長 皆さん、こんにちは。松本市教育委員会教育部長の山内亮と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○田中学務担当係長 松本市教育委員会学校教育課の田中智絵子と申します。よろしくお願いいたします。

○出羽沢学務担当係長 同じく松本市学校教育課の出羽沢千曲と申します。よろしくお願いいた

します。

○司会 それでは、協議会次第の３番目、役員の選出を議題とさせていただきます。

お手数ですが、会議資料の１ページをごらんください。

協議会規約第４条におきまして、本協議会では、会長１名、副会長３名、監事２名の役員を互選により選出することとなっております。

役員の選出について、何かご意見等がございましたらお願いいたします。

松本委員、お願いいたします。

○松本委員 事務局のほうに案があれば、お示しいただければありがたいかなというふうに思います。いかがでしょうか。

○司会 ありがとうございます。

ただいま事務局の案ということでご意見をいただきましたので、提出をさせていただいてもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声〕

○司会 それでは、事務局案について提案をさせていただきます。

○事務局 それでは、事務局から案として提案させていただきます。

会長を事務局があります松本市教育委員会の教育長に、副会長を塩尻市教育長、安曇野市教育長、東筑摩郡町村教育委員会連絡協議会会長である山形村教育長に、監事を塩尻市教育長職務代理者と安曇野市教育長職務代理者にお願いしたいと思います。

○司会 ただいま事務局から提案いたしました役員の案につきまして、ご承認いただけますでしょうか。恐れ入りますが、拍手をもってお願いしたいと思います。

〔拍手〕

○司会 ご承認いただけるということでございますので、選出された役員の名簿をお配りいたします。しばらくお待ちください。

お配りしている途中でございますが、選出された役員の皆さんは正面の役員席にお移りいただきますようお願いいたします。

それでは、役員が決まりましたので、代表いたしまして赤羽郁夫会長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

○赤羽会長 改めまして、皆さん、こんにちは。

ただいま会長を仰せつかりました松本市教育委員会教育長の赤羽郁夫と申します。どうぞよろしくお願いをいたします。

ただいま役員ご承認をいただきましたので、役員を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

本日はお暑い中、また公私ともにお忙しい中お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

皆さん既にご存じのように、学習指導要領が10年ぶりに改訂され、特に小学校では、来年、令和2年度から小学校の学習指導要領が全面改訂をされ、本格実施ということであります。本年度は、そのために小学校で使用する教科書の採択を行う年となります。

新しい学習指導要領では、特に小学校の3、4年生から外国語活動が導入され、また5、6年生で英語が教科化されると。いわゆる外国語が教科化される。そして、プログラミング学習が導入されるということで、まさにこれからの変化の激しい、予想できない世の中を生きていく子供たちにどういう力が必要かというような面でも、本当に変化が激しい時代に生きる子供たちのための対応も散見される、そんな学習指導要領の内容になっているのではないかなというふうに思っております。

教科書の採択につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の規定に基づきまして、各採択地区で種目ごとに1種の教科書を採択することになっております。採択地区は、その域内で1種の教科書を使用することが適当と考えられる地域でありまして、その地域の自然的、経済的、文化的諸条件を考慮して決定することとなっております。

当地域は、松本市・塩尻市・安曇野市・東筑摩郡が1つの採択地域となっておりまして、規約を定めまして、採択のための連絡調整を図る、そのためにこの教科用図書採択研究協議会を設置して、採択を行うということになっております。

今回も、先ほど自己紹介していただきましたけれども、教育関係者のほかに、より開かれた採択を目指すという目的のために、保護者代表のお立場で4名の方に、そして学識経験者のお立場から4名の方にご参加をさせていただいておりますので、より開かれた採択という面で、ぜひよろしくお願いをしたいというふうに思っています。

また、この協議会におきましては、第2回の協議会で種目ごとに1種の教科書を決定をしていただきます。そして、その結果を各市村の教育委員会へ持ち帰りまして、各市村の教育委員会で最終的には教科書の採択をしていただくと。そして、その結果をこの協議会全体で取りまとめまして、県に報告するという形で、8月中に県に報告するというようなことになっておりますので、そのように手続を進めてまいりたいというふうに思っておりますので、よろしくお願い致します。

私も、ここへ来る前に、私の手元には、自分が小学校1年生のときの国語の教科書がいまだ

にとってありまして、どういうわけかその教科書だけ手元に残っておりまして、本当に古びた、これはもう明治の教科書ではないかというくらいに、昭和33年入学の私にとっては、そのような教科書でありますけれども、教科書の裏には自分の名前と落書きが書いてありますので、本当に懐かしいものでありますが、子供たちにとっては、本当に教科書は主たる教材として重要な位置を占めております。そのような大切な教科書でありますので、ここにお集まりの皆さんの英知を集めて、本当に子供たちにとってよりよい教科書が採択できますように、ぜひご協力をよろしくお願いしたいというふうに思います。

整いませんけれども、挨拶とさせていただきます。よろしくお願いをいたします。

○司会 ありがとうございます。

それでは、協議に入る前に、本協議会規約について確認したいと思います。

事務局から説明させていただきます。

○事務局 それでは、事務局から説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

会議資料の4ページをお開きください。

規約を抜粋して読み上げまして説明をさせていただきます。

最初に、本協議会の設置の目的です。

第1条、松本市・塩尻市・東筑摩郡・安曇野市の市町村教育委員会が採択地区内の小学校及び中学校の使用教科用図書について、種目ごとに同一の教科用図書を採択するための連絡調査を図る機関として、松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会を設置するとしております。

後ほど規約第13条のところで説明させていただきますが、教科用図書の採択は、本協議会からの報告を受けて各市町村教育委員会が直接採択を行います。

次に、本協議会の組織についてです。第2条をごらんください。

第2条、この協議会は、採択地区の市町村教育委員会の教育長及び教育長職務代理者、松本市・東筑摩塩尻・安曇野市各校長会長及び同副会長、保護者代表及び学識経験者若干名をもって委員とし組織する。ただし、小学校使用教科用図書採択年度は学校組合教育委員会を、中学校使用教科用図書採択の年度は中学校の設置のない教育委員会を除いて組織する。本年度は小学校と中学校で使用する教科用図書の採択年度が重なるため、それぞれに組織を分けて名簿を作成しています。詳細につきましては、後ほど協議事項の中で説明し、お諮りいたします。

次に、本協議会の役員及び役員の職務についてです。第4条、第5条をごらんください。

第4条、協議会に次の役員を置き、協議会委員が互選する。会長1名、副会長3名、監事2名。

第5条、役員の職務は、次のとおりとする。

会長は、会務を総理する。

副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

監事は、会計を監査する。

本協議会の役員は、先ほど皆様の互選で選ばれた方々でございます。改めまして、よろしくお願いいたします。

次に、本協議会の運営についてです。第8条をごらんください。

第8条、会長は、会議の議長となる。

会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができません。

会議の議事は、出席委員の過半数で可決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

本協議会の議長には、先ほど会長に選出されました赤羽教育長にお願いしているところです。また、本日の出席者が委員の過半数を超えていることにつきましては、先ほどの報告のとおりです。

次に、調査研究委員及びその委嘱についてです。第9条、第10条をごらんください。

第9条、協議会に教科用図書調査研究委員会を設け、教科用図書を共同で調査研究する。

第10条、調査研究委員会の調査研究委員は、協議会が教科用図書の種目ごとに採択地区内の小学校、中学校の校長、教頭及び教諭の中から適当な者を選び委嘱する。

短い期間で教科書採択をしなければならない都合上、既に各校長会を通じて調査研究委員にふさわしい先生方の推薦をいただいているところです。後ほど協議事項の中でお諮りいたしますので、よろしくお願いいたします。

次に、本協議会の行う教科用図書の選定についてです。第12条をごらんください。

第12条、協議会は、調査研究委員会から提出された資料に基づき、協議のうえ教科用図書を種目ごとに一種を選び、これを市町村教育委員会に報告します。

後ほど協議事項でお諮りしますが、調査研究委員会は5回実施を予定しております。5回の調査研究委員会終了後、7月17日開催予定の第2回協議会で調査研究委員会から提出された資料に基づき皆様方に協議していただき、1種類の教科用図書を選び、これを市町村教育委員会に報告するというにいたします。

最後に、市町村教育委員会の行う教科用図書の採択についてです。第13条をごらんください。

第13条、市町村教育委員会は、協議会からの報告に基づいて教科用図書を採択する。

規約第12条で説明いたしましたが、本協議会から教科用図書1種類を選んで市町村教育委員

会に報告します。これを受けて、採択地区内の各市村の教育委員会は、県への報告期限までに教育委員会を開き、教科用図書を採択します。

なお、県からまだ確定の通知は来ておりませんが、例年ですと8月中旬ごろまでには県教育委員会へ採択結果を報告することになると思われます。各市村が開催する教育委員会の時期を考えると、日程的にはかなり短い期間で教科用図書の採択をしなければならないという事情もございますので、この点をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

説明については以上です。

○司会 ただいま本協議会の規約について説明いたしました。

何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本協議会はこの規約に基づいて運営されるということをご確認いただきましたので、これから協議事項に入らせていただきます。

規約第8条第1項に基づきまして、議長は会長が務めることになっておりますので、ここからは赤羽会長に進行をお願いいたします。

○赤羽議長 それでは、私のほうで進行をさせていただきます。

協議事項（1）令和元年度教科書採択の方針（案）についてご協議をいただきます。

それでは、説明を事務局のほうからお願いをいたします。

○事務局 それでは、説明をいたします。座って説明させていただきます。

資料7ページをごらんください。

令和元年度は、平成31年3月29日付の国からの通知にもありますように、小学校については、全ての教科書の採択を、中学校については「特別の教科 道徳」以外の教科書の採択を新たに行うこととなっております。

なお、中学校については、平成30年度において新たな図書の申請がなかったことから、基本的には平成26年度の検定合格図書の中から選定いたします。

協議会規約第2条にありますとおり、松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会は、中学校に学校組合がある関係で、小学校の教科書を採択する場合と中学校の教科書を採択する場合の組織がイコールになりません。このことから、組織については、次のとおり分けて事務局案を作成しましたので、確認をお願いします。

最初に、2ページをごらんください。

こちらは小学校の採択に係る委員名簿（案）になります。委員の数は30名になります。名簿に米印の記載がある委員は、中学校の選定に含まれない委員になります。



次に、資料の3ページをごらんください。

こちらは中学校の採択に係る委員名簿（案）になります。こちらにも名簿に米印の記載のある委員は、小学校の選定に含まれない委員になります。

なお、丸印の記載がある委員は、学校組合がある関係で、重複する委員になります。委員の数は、この重複する委員を除いて27名になります。

各地区の校長会の代表者、保護者代表及び学識経験者の皆様については、小・中学校ともに同じ委員の皆様をお願いしたいと考えております。

資料の7ページにお戻りください。

中ほどの（2）調査研究についてです。

中学校については、来年度学習指導要領の改訂に伴う教科書の採択があるため、今年度は調査研究委員は置かず、県の調査研究資料を参考に選定を行いたいと考えております。調査委員を置かないことは、平成29年9月15日付の県からの通知に基づいております。県からの通知は、資料の24ページに掲載してありますので、後ほどご確認をお願いします。

小学校については、各地区の校長会から推薦をいただいた委員により調査研究を行います。調査研究委員の数は10名までとします。調査研究結果は、7月17日の第2回協議会で委員長から報告をしていただきます。

調査研究委員会の日程や委員の詳細については、協議事項の（2）及び（4）のところで説明をいたします。

次に、（3）教科書の選定についてです。

小学校については、第2回協議会において、委員長から報告を受けた調査研究結果を協議し、1種類の教科書を選定します。

教科書の種類が多いことから、選定は調査研究委員の調査結果をもとに行いますので、委員の皆様は、必要に応じて各市村の教育委員会に送付された教科書見本や教科書展示会を利用して教科書を読んでいただくことになります。

中学校については、国からの通知にもあるように、平成30年度において新たな図書の申請がなかったことから、基本的には平成26年度の検定合格図書の中から選定します。

県からの調査研究資料及び平成27年度の協議会の選定結果等を踏まえ、第2回協議会において種目ごとに1種類の教科書を選定します。

県からの調査研究資料は、中学校採択に該当する委員の皆様にも事前送付し、内容を確認していただく予定です。

また、調査研究委員による調査結果については、小学校の採択に該当する委員の皆様は事前に送付し、内容を確認していただくこととなっております。

教科書の採択は、協議会の選定結果を踏まえ、各教育委員会が最終的に行っていただきます。

8 ページは、参考資料として令和5年度までの採択スケジュールを掲載しております。

説明は以上でございます。

○赤羽議長 ありがとうございます。

本年度は、小学校用は全て、それから中学校用は「特別教科 道徳」を除いて全てというような二重構造になっておりますので、少し複雑な面もあるというふうに思いますが、ただいまの説明に何かご質問等ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

よろしいでしょうか。

特にご発言がないようですので、それでは教科書採択の方針（案）について、原案どおりご承認いただくということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声〕

○赤羽議長 ありがとうございます。

それでは、異議なしということで、原案どおり進めさせていただきます。

7 ページにございます「案」の字を消していただければというふうに思います。

続きまして、協議事項（2）令和元年度松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会及び調査研究委員会の日程（案）についてご協議をいただきます。

引き続き事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは、日程（案）について説明いたします。

小学校と中学校の採択は別々に行いますが、第1回協議会、第2回協議会とも同じ日時に同じ場所で開催します。

順番前後しますが、最初に中学校の日程（案）を説明します。

資料の10ページをごらんください。

第1回協議会は本日5月27日、第2回協議会が7月17日に開催となります。本日の第1回の協議会では、採択までの方針等について協議をいただき、委員の皆様は承認をいただきます。中学校については、調査研究委員を置かないため、調査研究委員会の日程（案）はありません。

第2回協議会の進め方ですが、中学校の教科書選定を先に行います。第2回協議会では、選定資料をもとに協議を行い、教科書を選定していただきます。選定に係る資料をもとに、中学

校の採択に係る委員の皆様から教科ごと1種類の教科書を選定していただきます。選定資料の説明は事務局が行います。

選定協議が終了いたしましたら、小学校の採択に含まれない委員は退室できるものとします。ただし、退室を希望しない場合はこの限りではありませんが、採決権はありませんので、ご了承ください。

小学校のみの採択に係る委員の皆様は、最初から同席していただきますが、同様に中学校の採択に係る採決権はないものとします。

次に、小学校の日程（案）を説明いたします。

9ページをごらんください。

第1回協議会、第2回協議会の内容につきましては、10ページで説明した内容と重複いたしますので、第2回協議会の進め方から説明します。

第2回協議会では、中学校の選定終了後、小学校の選定に移ります。

選定に係る調査研究の結果を委員長が説明し、小学校の採択に係る委員の皆様が協議を行い、1種類の教科書を選定していただきます。

調査研究委員会は、6月6日から7月4日までの間で5回開催する予定ですが、委員の皆様の負担にならないよう、調査等の進みぐあいに応じて回数や時間を調整できるものとします。

監査については、10月下旬を予定していますので、監査に選任された委員の皆様はよろしく願いいたします。

また、協議会委員の皆様への監査報告は、監査終了後、速やかに書面にて報告をさせていただきます。

説明は以上でございます。

○赤羽議長 それでは、ただいまの説明、ご質問等ございましたらお願いをいたします。

それでは、進め方等についての説明でしたので、特にご発言がないようですので、異議なくご承認いただくということによろしいでしょうか。

〔「はい」の声〕

○赤羽議長 ありがとうございます。

それでは、原案どおり進めさせていただくということで、同様に9ページ、10ページにつきましても、「案」の字を消していただけたらというふうに思います。

それでは、続きまして協議事項（3）協議会予算（案）についてのご協議をお願いします。

事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは、予算（案）について説明いたします。

資料の11ページをごらんください。

最初に歳入ですが、合計は114万7,000円となります。内訳は、負担金が100万円、前年度繰越金が14万6,165円、諸収入が835円です。各教育委員会の負担割合については、資料の12ページにお示しのとおり、協議会で決めた計算式に平成30年5月1日現在の生徒数を当てはめて計算しています。

なお、中学校の採択に係る予算の負担金については、徴収いたしません。

次に、歳出について説明します。

資料の11ページにお戻りください。

下の表、まず費用弁償の合計は75万9,600円になります。主な支出は、協議会委員及び調査研究委員の旅費になります。松本市選出の方は、1回の出席につき1,200円、松本市以外で選出の方は、1回の出席につき1,800円で計上しておりますが、支給額は自宅または各学校から会場までの距離に単価を掛けた実費、これに出席した日数を乗じた額といたします。協議会委員は第2回協議会の際、調査研究委員は第5回調査研究委員会の際に旅費をお支払いいたします。

次に、需用費です。需要費の合計は21万6,600円になります。主な支出は、調査研究に係る消耗品と食糧費になります。

最後に、役務費です。役務費の合計は17万800円になります。主なものは、郵送料と反訳手数料です。反訳は第1回協議会と第2回協議会の会議録を作成するのに必要な金額を計上しています。

以上の支出を合計すると、114万7,000円となります。

なお、支出には小学校の採択に係る委員の人数を反映させております。

説明は以上でございます。

○赤羽議長 予算（案）の説明をいただきました。

予算（案）についてご質問等ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

これもよろしいでしょうか。

そのような負担金をそれぞれの市村が負担をし、この協議会を構成し、予算執行していくということでありますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、異議なしということで、原案どおり進めさせていただきます。

これにつきましても、11ページ、12ページの「案」の字を消していただけたらというふうに

思います。

それでは、次に移ります。

(4) 教科用図書採択研究協議会調査研究委員の委嘱方法(案)についてご協議をお願いします。

それでは、お願いします。

○事務局 それでは、委嘱方法(案)について説明いたします。

資料13ページをごらんください。

最初に、委嘱方法ですが、松本市・塩尻市東筑摩郡地区・安曇野市の各校長会から推薦された方に委嘱し、第1回調査研究委員会で委嘱状を交付します。

次に、選考方法です。今年度も昨年度と同様の方針に基づき選考を行います。

(1) 3期連続の推薦はできない。

(2) 男女年齢にとられない。

(3) 教科書の編集等に携わったことのない者とする。

(4) 松本市から委員の半数を選考し、半数を塩尻市東筑摩郡地区と安曇野市から同じ委員数になるように選考します。

なお、3期連続とは、この地区の採択協議会内で3回連続して推薦される場合を指しますが、小学校と中学校は別々にカウントするものとしています。

選考区分は14ページをごらんください。

委員は、前回と同様の10名までとします。

委員の内訳は、委員長と副委員長は各1名ずつとし、委員長には校長、副委員長には教頭が当たることとします。

委員は84名で、選考方針(4)に従い、松本市から42名、塩尻市東筑摩郡地区から21名、安曇野市から21名それぞれ推薦をいただきました。

推薦を受けた調査研究委員の名簿をこれからお配りしますので、ご確認ください。

なお、この名簿については、当面非公開となりますので、後ほど回収いたしますので、よろしくお願いいたします。

資料13ページへお戻りください。

調査研究委員の資格でございますが、欠格事由に示す5つの条件に1つでも該当する場合は委員から外れることとなります。

欠格事由に該当するかどうかについては、現在、審査を行っているところです。

委嘱方法（案）については、説明は以上でございます。

○赤羽議長 今、お手元に調査研究委員の名簿の案を配付いたしました。

今、それぞれの校長会からこのような先生方が推薦され、説明がありましたように、欠格事項に該当しないか、今、調査中ということであります。

よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

それでは、調査研究委員の委嘱方法については、ただいま説明があったように進めさせていただくということで、原案どおりよろしくお願いをいたします。

続きまして、協議事項（５）開かれた採択の推進（案）についての協議をお願いします。

失礼いたしました。その前に、先ほどの「案」の字も消していただければというふうに思います。

それでは、続いて説明をお願いします。

○事務局 それでは、開かれた採択の推進について説明します。

資料15ページをごらんください。

開かれた採択の推進のため、広い視野から意見等を反映するよう、国や県からも強く求められております。このことから、本協議会においても、保護者代表の方４名、学識経験者の方４名の皆様に委員として参加していただいております。

採択に係る情報の公開につきましては、開かれた採択を一層推進する観点から、積極的な公表に努めることとされている一方、公表する項目によっては、公正確保ができない、円滑な事務遂行が損なわれる、静ひつな採択環境が確保できないことなど、こういったことがあるので、十分に注意が必要だと考えられます。このような観点と、長野市、長野県の状況を勘案し、本協議会では、情報公開等について、（２）の表のように定めます。

また、公開請求の事務手続については、事務局が所在する市の情報公開条例の規定を準用いたしますので、今年度は松本市の規定を準用して処理するものといたします。

中段、（２）の表を説明します。

参考までに、平成29年度と30年度の協議会の実績及び今年度の長野県と長野市の状況を記載してありますので、比較しながら協議会の令和元年度の欄、太線で囲ってあるところでございますが、こちらをご確認ください。

本年度も協議会の会議録は作成します。

調査研究委員会の会議録は作成しません。

協議会委員名の事前公開は行わず、事後公開とします。

調査研究委員名も事前公開は行わず、事後公開としますが、請求がなければ公開しません。

協議会及び調査研究委員会は非公開とします。

協議会の会議録は公開します。

会議録は言い回しや表現等を一部修正するため、抄録として取り扱います。

調査研究委員会の報告書、採択の結果についても公開します。

協議会委員名、協議会会議録、調査研究委員会の報告書、採択の結果については、情報公開日にあわせて松本市のホームページで公表いたします。

次に、採択終了日と情報開示日についてですが、これまでの協議会の状況と本年度の長野県の状況を踏まえ、本協議会においては、採択終了日を8月31日、情報開示日を9月2日にしたいと考えています。

なお、各教育委員会の採択日については、それぞれの教育委員会に任せることとするため、9月2日以前に結果を公表することは問題ないと考えます。

ただし、調査の観点や採択基準など、当協議会の資料に関連するものについては、9月2日以降の公表としていただきますようお願いいたします。

資料16ページ、(3)教科用図書の展示については、長野県が主体となり、今年度も6月中旬から7月上旬の14日間実施すると聞いております。開催場所等の詳細な情報が届きましたら、本協議会でも周知等を積極的に協力したいと考えています。

委員の皆様への周知は事務局から行います。

説明は以上でございます。

○赤羽議長 それでは、今、開かれた採択の推進（案）ということで、特に情報公開等の状況について説明をいただきました。

それだけ慎重に進める必要があるということで、今、お示しのように、情報公開等の考え方を定め、それに従って進めるということでよろしいわけですね。

それでは、ご質問等ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

それでは、特にご質問等ないようですので、原案どおり進めさせていただくということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声〕

○赤羽議長 ありがとうございます。

それでは、この開かれた採択の推進についても、「案」を消していただけたらと思います。

それでは、次に協議事項（６）その他としまして、全体を通して委員の皆様から何かご協議いただくこと、それから今まで扱った中で改めてご質問等がございましたらお願いしたいというふうに思います。

採択にかかわって、もし市町村教育委員会等への問い合わせがあった場合には、松本市教育委員会が事務局なので、そちらへ問い合わせしてくれということでもよろしいわけですね。その辺だけちょっと確認を。

○事務局 はい。今、会長がおっしゃったとおりでございます。よろしくお願いいたします。

○赤羽議長 ほかに何かございますでしょうか。

もし委員の皆様で疑問等ございましたら、事務局のほうへ問い合わせをさせていただくということもよろしいですね。

これ以降、もし資料等持ち帰って、ここのところ少しよくわからない点があるというふうなことで、事務局のほうへ問い合わせるということはいいいわけですね。その辺も、もう一回ちょっとお願いします。

○事務局 今後何か不明な点等ございましたら、事務局のほうへお問い合わせいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○赤羽議長 そのようなことを確認をさせていただいて、進めさせていただくということでお願いいたします。

それでは、これで全ての協議事項が終了しましたので、議長の任をおろさせていただきますが、スムーズな議事の進行にご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

以上で議長の任をおろさせていただきます。

○司会 ありがとうございました。

以上をもちまして令和元年度第１回松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会を閉会させていただきます。

先ほどお配りいたしました調査研究委員の候補者の名簿につきましては、会議終了後に回収させていただきますので、そのまま机の上に置いていただきますようよろしくお願いいたします。

なお、公務等多忙な時期と思いますけれども、７月１７日の第２回協議会は、教科書選定の重要な日でございますので、日程調整等の上、ぜひ必ずご出席いただきますよう重ねてお願いいたします。



本日は長時間にわたりましてご協議をいただきまして、まことにありがとうございました。  
お疲れさまでございました。